

は
が

小さな子もいっしょに遊びます

「波賀放課後子ども教室運営委員会」では、放課後の子どもたちが安全で安心して過ごせる「居場所づくり」を考えています。ここで取り組まれているのが「友遊倶楽部」です。

友遊倶楽部は、小学生が一斉下校する水曜の放課後、地区の公民館で開かれています。ボランティアスタッフが遊具を持って訪問し、安全・安心な遊び場として公民館を開放します。児童館

公民館で遊ぼう！
水曜日は友遊倶楽部

第1回ドミノ倒し大会

を出前するイメージです。

5月の最後の水曜日、水谷公民館に集まったのは一年生と三年生の3人。幼児とお母さんたちもやって来て合計7人。近所の民生委員さんもみえました。「昔やったら、自然と公民館に集まって、大きい子も小さい子もみんな遊びよったけど、今の子どもは電話で約束せな遊ばれへん。せいがいいことや。」と、ボランティアスタッフの松木さん。

ボランティアスタッフが毎週各地区を回りますが、1地区あたり年間2〜3回しか実施できない状況です。

現在回数を増やすためにボランティアスタッフを募集されています。現地スタッフとして近所のおじさん、おばさんも大歓迎のことです。

(波賀支部 可藤和成)

ち
くさ

トライやる・ウィークの中学生もパレードに参加し、善意の啓発中

千種支部では、6月1日の「善意の日」にちなみ、千種幼稚園児による啓発パレードを行いました。

このパレードは、市民に「善意の日」を呼びかける取り組みとして、恒例となっています。

千種南小学校鼓笛隊によるパレードが昭和40年頃から始まり、平成12年頃から千種幼稚園の風船隊に引き継がれています。

千種幼稚園風船隊

善意の日のパレード



商店街を行進中(横断歩道は手をあげて)

風船を手に園児たちは「きょうはなにかひとつええことしたらえんや」、「いえにかえたらおとうさんにおしえてあげる」と元気よく歩き、商店街の人に笑顔のプレゼント。

小さな善意の積み重ねが、大きな善意となってまた私たちのところへ帰ってきます。

『一人はみんなのために、みんなは一人のために』

(千種支部 小原志のぶ)